

第3次小金井市環境保全実施計画（令和3年度）

（前期：令和3～7年度、後期：令和8～12年度）

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
000 計画推進の基盤づくり																
010 基盤1 環境教育・環境学習																
011 学習の場・機会の創出																
011	1		011-1	環境講座	環境啓発事業の一部として環境講座を行う。	A		「まるごと柿づくし2」、「水引のラリー」を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策として、1回あたりの参加人数を減らしたが、回数を増やして対応した。	A		A		A		
011	2	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	A		令和3年11月に小金井 宮地楽器ホールの展示を中心として環境フォーラムを開催した。	新型コロナウイルス感染症対策として、展示を中心としたため、体験型の企画をできなかった。	A		A		A		
011	3	重複	011-3	クリーン野川作戦	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的実施する。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	B	清掃中心から、フィールドワーク中心のイベントへの変更を行う。	C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D	未実施	
011	4		011-4	環境施設見学会	環境啓発事業の一部として環境関連施設の見学会を行う。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	A		C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D	未実施	
011	5		011-5	小金井市環境賞	環境活動に功績のあった市民、市内の団体または事業者を表彰する。	A		2者から応募があり、選考委員会の結果、2者が被表彰者とした。	約20年事業を継続し表彰してきたが、表彰の対象となるのは環境保全の取組を長く続けた方であるため、新たな対象者は増えていく、応募がない年度が生じている。	B	子ども向けの表彰への変更を行う。	A		A		
011	6	重複	612-6	くるか出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	A		出張講座（6回）等で啓発活動を実施。		A	0	B	当初計画していた講座等の実施ができなかった。	B	実施回数を伸ばしたかったが6回に留まった。	
011	7		011-7	小金井市まなびあい出前講座	行政、各団体、企業等の協力を得て、職員・社員が市民方へ出向いて情報を提供する「小金井市まなびあい出前講座」を行う。メニューに環境、まちづくり、防災、教育等がある。	A		出前講座の実施回数10回	新型コロナウイルス感染症の影響により申込が少なかった。	A	令和3年度は行わなかった講座内容の確認を行う。	A		A		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
011	8	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座等を開催する。	A		市民講座、成人学校、若者による自主講座等計8講座を実施した。	講座参加者が固定化する傾向にある。いかに新規参加者を呼び込むか。	A		A		A			
011	9		011-9	環境学習の推進（環境教育資料の提供）	環境教育にかかわる資料を学校に提供する。	A		東京都等が作成する資料やホームページなどを紹介	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A		A		A			
011	-		-	-	(上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、学習の場・機会の創出を行う。)	-	-	-	-	-	-						
012_担い手の創出																	
012	-		-	-	(「011_学習の場・機会の創出」と概ね重複するため省略。)	-	-	-	-	-	-						
020_基盤2 環境活動																	
021_市民協働体制の強化																	
021	1		021-1	環境市民会議との協働	環境市民会議による活動を支援する。	A		補助金交付による活動の支援のほか、6回の協議を実施した。	環境保全に関して共有することができ、連携が図れている。	A	前年度と同様に複数回会合を実施予定	A		A			
21	2	重複	131-2	環境市民会議によるみどり調査の支援	環境市民会議によるみどり調査に対する支援を行う。	A		環境市民会議と協議をしたが、感染症拡大防止の観点より調査を見送った。	環境市民会議のみどり調査会メンバーの高齢化により調査が難しい面もあるため、支援内容を協議する必要がある。	A	0	B	環境市民会議とどのようにみどり調査を進めるべきか具体的な協議が進められていない。	C	新型コロナウイルス感染症の影響という事情により調査を見送ったため、支援については評価できない。		
021	3	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的実施する。	A		新たに6団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会も定期的に行うとともに、指定管理者制度を導入している先進的な2つの公園の視察を実施した。	先進的な2つの公園の視察を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができ、様々な意見交換の機会となり、モチベーションを高めることにつながった。	A	0	A	0	A		計画本文で言及しているため重複として位置づけている。	
021	4	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代掻きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	0	新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	A	0						

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)	
021	5	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	A	団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は377名。市民との協働による環境美化活動を推進したい。	0	0	A	0	A	0	A	0	計画本文で言及しているため重複として位置づけている。	
021	6		021-6	こがねい市民活動団体リスト	市民活動団体の情報が掲載された「こがねい市民活動団体リスト」を更新する。	A		令和4年2月1日に改訂版のリストを発行した。	こがねい市民活動団体リスの改訂版を作成し、ネットワークづくりに寄与した。	A		A		A			
021	7		021-7	こがねい市民講師登録・紹介制度	市民の生涯学習活動を支援するため、市民講師を登録し、サークルや団体等の求めに応じて援助者として活動する制度である。	A		登録講師の活用や新たな講師の登録はなかった。	講師は、基本的にはボランティアなので増やしていくのが難しい。	A	講師の募集を行う。	B	講師派遣の問合せ等がなかったため。	D		・環境分野の登録講師は現在いない。【R3年3月、所管課回答】	
021	8		021-8	社会教育関係団体	社会教育関係団体の登録充実と支援を行うとともに、市民への周知や環境を含めた学習機会への活用を図る。	A		令和3年度登録数97件	3年ごとの登録更新時にコロナ禍により団体活動の自粛が多く前回登録更新時より件数が減少した。	A	社会教育関係団体登録は随時受付している。登録済み団体への更新は3年おきに行っている。	B	コロナ禍により活動団体の減少	B	引き続き登録をいただけるよう窓口でもご案内していく		
021	9		021-9	環境学習の推進（講師等の紹介）	学校の環境学習活動への派遣要請に対して講師等を紹介する。	A		東京都等が紹介する講師に係る情報提供	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A		A		A			
021	-		-	-	(上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、市民協働体制の強化を図る。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
022_場・人材・情報のネットワーク化																	
022	1	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	A		令和3年11月に小金井 宮地楽器ホールの展示を中心として環境フォーラムを開催した。	新型コロナウイルス感染症対策として、展示を中心としたため、体験型の企画をできなかった。	A	0	A	0	A	0	計画本文で言及しているため重複として位置づけている。	
022	-		-	-	(上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、場・人材・情報のネットワーク化を図る。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
030_基盤3 情報発信・共有																	
031_効果的な情報発信																	
031	1		031-1	環境基本計画の普及啓発	環境基本計画の周知啓発を行う（市ホームページ、公共施設、環境フォーラム等のイベント等）。また、市民団体・教育機関等とのネットワークづくりを進め、それらを介した新たな発信方法を追求する。	A		環境市民会議へ周知を行った。市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで概要版を配布した。	新たな発信方法を検討する。	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
031	2	重複	031-2	「小金井環境行動指針」の活用	「小金井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	A		市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手にとってもらえる環境を整備できた。	A		A		A			
031	3	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	A	0	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を年4回掲載し、正しい分別方法の周知やごみ減量啓発を図る。	転出入者が多いので、くりかえし周知や啓発を行うことが必要となる。	A	0	A	0	A	0		計画の「取組指標」に関連するため重複として位置づけている。
031	4	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	A		数値実績なし	HPも10年以上になるがあらためてまず内容の周知以前にHPの広報を課ツイッターやチラシの置き場を広げて行っているところである。委員が何人が辞めたため、新たな部員の募集を新年度に行う予定である。HPのチラシの置き場についてもさらに広げて行っているところである。	A	0	A	0	A	0		
031	-		-	-	(上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて効果的な情報発信を行う。)	-	-	-	-	-	-						
032 環境情報の共有																	
032	1	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	A		令和2年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施する。	A		A		A			
032	-		-	-	(基本目標1～7の各取組について環境情報の共有を行う。)	-	-	-	-	-	-						
100 みどりを守り、つくり、育てる																	
110 みどりの保全																	
111 まちなかのみどりの保全																	
111	1		111-1	環境緑地・公共緑地の保全	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、環境保全緑地（環境緑地・公共緑地）の指定・保全を行う。また、必要に応じて指定要件の見直しを行う。	A		R4年4月1日に指定要件の見直しのため、規則の改正をした。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努める。	A		A		A			要件緩和後の緩和適用件数等をおさえる
111	2		111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	A		市報R4年4月1日号及びホームページにて周知にむけ調整した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努める。	A		A		A			市報等の周知による、新規件数をおさえる
111	3	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	A		指定要件の見直しをR4年4月1日にむけ調整した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努める。	A		A		A			要件緩和後の緩和適用件数等をおさえる

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
111	4		111-4	環境配慮基準の見直し（樹木）	環境配慮基準の「1.緑を守り育てる」に関する規定を見直し、宅地開発時の既存樹木の保全割合を検討する。	A		緑化指導基準の制定とともに検討した。	既存樹木の保全は所有者及び開発事業者の負担を強いるため、慎重に検討する必要がある。	A		B	既存樹木の保全は所有者及び開発事業者の負担を強いるため、慎重に検討する必要がある。	B	既存樹木の保全は所有者及び開発事業者の負担を強いるため、慎重に検討する必要がある。	
111	5	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	A		■体験農園 農園数：2農園 区画数：90区画 面積：4,489.46㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を行い、収穫した農作物は収穫祭を行い、農業者と市民との交流を深めた。	C	1農園が廃止のため、1農園の実施。（10区画）	0	A	A	0	
111	6	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	A		■市民農園 農園数：5農園 区画数：191区画 面積：3,610.37㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和4年4月1日の開園に向け、ぬくいみなみ第2市民農園を整備した。	A	0	A	A	A	0	
111	7		111-7	みどりの実態に関する情報共有	事業者・市民にみどりの実態に関する情報を共有し、保有者に対して保全を働きかける。	A		生産緑地の買い取り申請時等に保有者にみどりの保全について協力をお願いしている。	新たな支援制度などを市報及びホームページで周知に努める。	A		A	A			
112 農地の保全・活用																
112	1		112-1	生産緑地地区の追加指定	生産緑地法等の改正に伴う生産緑地地区の指定基準緩和を受けて、農業者に積極的に周知を行い、追加指定による生産緑地地区の増加を図る。	A		毎年4～5月に受け付けていた申請を本年通じて申請の受けることとした。	生産緑地の追加指定が3件あった。	A		A		A		
112	2	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	A		■体験農園 農園数：2農園 区画数：90区画 面積：4,489.46㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を行い、収穫した農作物は収穫祭を行い、農業者と市民との交流を深めた。	C	1農園が廃止のため、1農園の実施。（10区画）	0	A	A	0	

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
112	3	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	A		■市民農園 農園数：5農園 区画数：191区画 面積：3,610.37㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和4年4月1日の開園に向け、ぬくいみなみ第2市民農園を整備した。	A		A		A			
112	4		112-4	高齢者農園	高齢者農園の整備を進める。	A		■高齢者農園 農園数：2農園 区画数：95区画 面積：1,371.83㎡	高齢者農園の利用希望者は多く後期高齢者の利用も43.2%と全体の約4割を占めており、介護予防に繋がること期待されるなど高齢者農園がコミュニティの形成と健康促進の役割を果たしていると評価できる。	A		A		A			
112	5		112-5	都市農地保全推進自治体協議会	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進自治体協議会にて、都市農地の保全・活用の調査・研究を推進する。	B	都市農地保全自治体フォーラムの開催が新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため		フォーラムの中止により、都民に都市農地の重要性を訴えることはできなかったが、都市農地の保全、活用等について、ネットワーク機構である東京都農業会議とも連携し情報共有を図っている。	A		C	フォーラムの中止により、都民に都市農地の重要性を訴えることはできなかったが、都市農地の保全、活用等について、ネットワーク機構である東京都農業会議とも連携し情報共有を図っている。	D	未実施		
112	6		112-6	援農ボランティア	市内農家の農作業を手伝う「援農ボランティア」を養成する。	A		■援農ボランティア事業 参加者数：5人 認定者数：5人	援農ボランティア事業では、市内の圃場で5人の実習生が草取り、肥料の運搬、収穫、出荷作業などの作業を農業者から直接指導を受け、5人の実習生が認定を受けた。	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
112	7		112-7	苗木無料配布	営農を支援するため、市内農家が生産する苗木の無料配布事業を実施する。	A		■春の苗木：400本 ■秋の苗木：400本	小金井市民を対象に、抽選による苗木の無料配布を実施した。市内の緑化推進と苗木の苗木生産振興に寄与した。	A		A		A			
112	8		112-8	営農困難な都市農地の貸借を推進	「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」の施行により、意欲ある農業者や新規就業者、また、市民農園を開設したいと考える民間企業等が生産緑地を借りやすくなったことから、営農困難な生産緑地の貸借を推進し、農地の活用を図る。	A		■都市農地の貸借の円滑化に関する法律による農地の貸借：6件	農地の貸借制度について、適宜周知を行ってきた結果、貸借による営農困難農地の解消に繋がった。更に、営農困難農地の解消に向け、周知、相談を継続していく。	A		A		A			
112	9		112-9	学童収穫体験事業	市内小学校を対象とした収穫体験事業への支援を行い、土に触れる喜びと作物収穫の感動と農業への理解を促進する。	A		■学童収穫体験事業 参加児童数：1,763人	土にふれあい、収穫の喜び、地場産野菜を味わい、身近な農への関心を高める機会とした。（雨天等により中止となった学校へは、児童数分の収穫品を届けた。）	A		A		A			・農業振興連合会が実施しているため、市の立場としては費用の補助である。【R3年3月、所管課回答】

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
112	10		112-10	イベントを通じた交流機会の拡大	農業祭等のイベントを通じた魅力ある交流を進める。	D	令和2年度から、農・商工業・観光一体となったイベント「こがねい産業まつり」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小し、物販のイベント及び公立小学校児童を対象とした農業絵画コンクールを開催した。農産物の出品は実施しなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ■絵画コンクール申込者数 1・2年生：31人 3・4年生：172人 5・6年生：18人 ■道草市 開催回数：6回 後援回数：6回 ■親子収穫体験 開催：1回 参加者：20組60人 	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、開催方法を検討していく。道草市では、商業・農業・介護・子育ての関係者が、地域コミュニティや賑わいを図る目的でイベントを開催し、採れたての地場産野菜等の販売や芋ほり体験等を通じて市民との交流や地場産の野菜等のアピールにつながった。 ダイコンの収穫体験（1本/1組）と地元農産物を使用した加工品及び収穫物と加工品を使用した料理レシピを配布し、農業と食育への関心と地産地消へのアピールにつながった。	A		B	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小したため。	B	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、開催方法を検討していく。		(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
112	11		112-11	地場産野菜を活用した料理講習会	一日生活教室を通じ、地場野菜を使った料理講習会を実施する。	B	新型コロナウイルス感染症拡大により、実施しなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ■料理講習会 開催回数：0回 参加人数：0人 	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、開催方法を検討していく。	A		C	新型コロナウイルス感染症拡大により、実施しなかった。	D	未実施		
112	12		112-12	学校給食地場産野菜利用促進	学校給食の地場野菜の導入率を高めるため、栄養士と農家の打合せ等の調整について協力する。	A		<ul style="list-style-type: none"> ■給食提供農家圃場見学：4農園 	学校給食への地場産野菜の積極的な導入を図るため、市内公立小・中学校の栄養士向けに圃場見学を実施した。給食に納品されている野菜等の圃場見学や生産農家との意見交換等を通じて地場産野菜の利用促進への理解を深めた。	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
112	13		112-13	環境保全型農業の推進	東京都エコ農産物認証制度を利用し、減農薬と減化学肥料に取り組む。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止により支部別座談会を中止したことから、事業説明ができなかった。		パンフレットの送付等も含め、引き続き農業者へ周知を行っていく。	A		C	新型コロナウイルス感染拡大防止により支部別座談会を中止したことから、事業説明ができなかった。	D	未実施	
120_みどりの創出																
121_公園・緑地の創出・活用																
121	1		121-1	公園等の適切な維持管理	児童遊園・子供広場・緑地・都市公園の維持管理を行う。	A		市内212箇所の公園等で安全上支障となる樹木は優先的に伐採や剪定等を行った。草刈り等の回数については、繁茂状況に応じて212箇所の作業回数を見直した。	より多くの住民要望に応えるために、さらに効率良くパランスの取れた委託内容を検討する。必要がある。	A		A		A		
121	2		121-2	新たな公園等の整備	優先的に整備が必要な小長久保公園、三楽公園、梶野公園及び（仮称）東小金井駅土地区画整理事業1号公園を整備する。	A		小長久保公園は用地取得と整備工事を、三楽公園は用地取得を行った。	三楽公園については、令和4年度に用地取得をした北側緑地と一体とした整備工事を行う。	A		A		A		
121	3	重複	121-3	指定管理者制度等の民間活力導入	都市公園の魅力向上のため、指定管理制度等の民間活力の導入を検討する。	A		民間事業者と個別対話を実施し、事業スキームの検討をした。	事業期間、事業範囲について、改めて民間事業者の意向を確認する必要がある。	A		A		A		・前期の検討期間の目安：R3年度サウンディング調査・事業スキーム検討。R4年度事業内容の決定。R5年度事業者選定。【R3年3月、所管課回答】
121	4		121-4	低未利用公園等の整理	利用者数の少ない公園等について土地利用転換を含めた有効な利活用について検討をする。	A		活用希望調査を行い、2公園の活用希望があったため、希望担当課と調整をした。	公園周辺の自治会や隣接地権者の合意形成に至らない場合が多く、希望する活用に至らないことがある。	A		A		A		
121	5	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	A		小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A		A		A		
121	6	重複	312-4	学校ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理	児童・生徒を取り巻く環境が整備された。	A	0	A	0	A	0	

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
121	7		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	A		小金井市環境配慮指針に従い、敷地面積から建物面積を除いた面積の20%以上の緑化を設計に反映。	小金井野川クリーンセンターについては、発注仕様書に基づき緑地帯を反映	A		A		A			ごみ対策課回答
122_みどりのまちなみの創出																	
122	1		122-1	環境配慮基準の見直し（屋上緑化・壁面緑化等）	環境配慮基準の「1.緑を守り育てる」に関する規定を見直し、屋上緑化、壁面緑化も緑化面積に含めることを検討する。	A		環境配慮基準の見直しについて検討した。		A		A		A			
122	2		122-2	緑化指導に関する規定の制定	新たに緑化指導に関する規定を制定し、指定開発事業に該当しない規模の建築行為に対しても緑化指導を行う。	A		基準を策定し、令和4年度から適用となる。		A		A		D		令和4年度からの新基準適用	
122	3	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	A		指定要件の見直しをR4年4月1日にむけ調整した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努める。	A	0	A	0	A	0		
122	4		122-4	緑化の手引きの作成	事業者・市民に向けた「緑化の手引き」を作成し、緑化手法や維持管理に関する技術等の情報提供を行う。	A		R4年4月1日に向け調整した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努める。	A		A		A			
122	5		122-5	街路樹の管理	都市計画道路の整備に当たっては、歩道に植樹帯等を設け、街路樹を植栽する。景観形成機能や生き物の生息空間等の創出機能にも配慮し、適切な管理を進める。	A		都市計画道路3・4・12号線にオムラサキツツジを111株植樹した。 都市計画道路3・4・3号線にサツキツツジを30株植樹した。		A		A		A			
130_みどりをはぐむ市民活動の促進																	
131_みどりを知り、親しむ機会の創出																	
131	1		131-1	みどりに関する情報発信	みどりの基本計画、みどりの実態調査、ガーデニングや緑化の事例、支援制度、ボランティア活動等、みどりに関する情報発信を充実する。	A		4回、花壇ボランティアによる公園花壇植え替えイベントを周知のうえ実施した。	支援制度の周知により新たに保存生け垣の申請があった。	A		A		A			
131	2	重複	131-2	環境市民会議によるみどり調査の支援	環境市民会議によるみどり調査に対する支援を行う。	A		環境市民会議と協議をしたが、感染症拡大防止の観点より調査を見送った。	環境市民会議のみどり調査会メンバーの高齢化により調査が難しい面もあるため、支援内容を協議する必要がある。	A		B	環境市民会議とどのようにみどり調査を進めるべきか具体的な協議が進められていない。	C	新型コロナウイルス感染症の影響という事情により調査を見送ったため、支援については評価できない。		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達成 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
131	3		131-3	環境学習の充実	小中学生や子育て世代などを対象とした環境学習の充実を図る。	A		小金井第四小学校6年生を対象の環境学習を行い、学校や公園等の樹木に樹名板を100枚設置した。	身近なみどりを大切にす気持の醸成につながった。	B	中学生対象の森林環境教育事業等、更に対象を広げ実施する	A		A			
132_協働による活動の推進																	
132	1	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的実施する。	A		新たに6団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会も定期的に行うとともに、指定管理者制度を導入している先進的な2つの公園の視察を実施した。	先進的な2つの公園の視察を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができ、様々な意見交換の機会となり、モチベーションを高めることにつながった。	A		A		A			
132	2		132-2	花壇ボランティア・剪定ボランティアへの支援	花壇ボランティアや剪定ボランティア同士の情報交換会を定期的実施する。また、スキルアップの為、講座形式でみどりの知識や管理など技術を習得できる仕組みを検討する。	A		3月に2回、市民団地による活動の活発な公園を視察し、他市区の事例を学んだ。	先進的な2つの公園の視察を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができ、様々な意見交換の機会となり、モチベーションを高めることにつながった。	A		A		A			
132	3		132-3	公園サポーター会議設置の検討	梶野公園サポーター会議をモデルに、地域住民が管理するモデル公園の選定。公園サポーター会議の設置を検討する。	A		令和4年度に実施する三楽公園整備工事については、自治会や近隣関係者等との協議を密に行い、サポーター会議の足掛かりを作った。	三楽公園について、関係者との信頼関係を継続して構築していく必要がある。令和4年度に工事のための市民説明会等を実施、信頼関係をより強固なものにしていき公園サポーター会議の設置を検討する。	A		A		A			・後期5年の「拡大」について、全公園を包括管理に出せるのが理想だが、10年間では難しい可能性あり。【R3年3月、所管課回答】

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考				
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）			
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）							
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)	
132	4		132-4	気軽に参加できるボランティア制度の検討	子育て世代や子どもが空いた時間に気軽に参加できるボランティア制度の導入を検討する。	A		公園花壇ボランティアの活動と協働し、親子で参加できるイベントを4回実施した。	日頃利用している公園で花の植え替え体験を実施したことで、公園の愛着を高めることができ、公園を大切に利用しようとする気持ちの醸成することができた。	A		A		A				
132	5		132-5	みどりに関する新たな歳入確保	みどりに関する募金等、新たな歳入確保につながる仕組みづくりを検討する。	A		各イベント実施時にも合わせて募金箱を設置した。		A		A		A				
132	6		132-6	花壇ボランティアによる屋上庭園の運営	(仮称) 新福祉会館の屋上庭園の一部において、花壇ボランティアによる運営を検討する。	B	建設事業を中断していたため、事業実施に至っていない。			未定	建設事業の方向性や進捗状況による	C	建設事業を中断していたため、事業実施に至っていない。	D			建設事業の方向性により事業を変更する可能性がある。	
200_地下水・湧水・河川の水循環を回復する																		
210_地下水・湧水の保全																		
211_地下水・湧水等のモニタリング																		
211	1		211-1	水質監視測定	市内井戸の水質測定を行い、地下水保全会議等を通じて結果を分析・公表する。	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A		A		A				・地点数等は計画期間中に変更になる可能性があるため「概要」に記載していない。【R3年3月、所管課回答】
211	2	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A		A		A				・地点数等は計画期間中に変更になる可能性があるため「概要」に記載していない。【R3年3月、所管課回答】
211	3		211-3	湧水測定見学等	湧水測定の見学会等を行う。	D	令和4年度以降検討											・予め日付を指定する等、現行の委託仕様を変更し、滄浪泉園休館日に実施する様子を見学してもらうくらいであれば実現できる可能性あり。【R3年3月、所管課回答】
211	4		211-4	自動記録計設置による地下水水位測定	市の管理する井戸または所有者に許可を得た井戸に自動記録計を設置し、連続して水位測定を行う。	D	令和4年度以降検討											
212_住宅地等における雨水浸透の促進																		
212	1	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	A		申請件数3件・設置浸透ます6個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A		A		A				
212	2		212-2	雨水浸透ます設置工事	道路上に雨水浸透ますを設置することにより、下水管きよへの雨水流入を抑制する。	A		浸透枳38基設置	下水道管に流入する雨水量の削減	A		A		A				

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
212	3		212-3	歩道における透水性舗装	歩道舗装を透水性舗装にすることで、道路雨水の浸透を促進する。	A		市道第1号線に透水性アスファルトを51㎡舗装した。		A		A		A			
213_開発事業等における地下水への影響の未然防止																	
213	1		213-1	環境配慮計画書	開発工事事業者・市民等に地下水保全条例の周知を継続する。	A		開発工事事業者から事前相談があった際には、条例を周知した。	条例を周知することができた。	A		A		A			
213	2		213-2	地下水保全会議の開催	開発事業等による地下水への影響について、ボーリング調査データ等から状況を把握するとともに、提出された書類に基づき地下水保全会議の意見を聴き、必要に応じて地下水への配慮を求める通知を行うなどして影響の未然防止に努める。	A		地下水影響工事の届出 0件		A		A		C	該当がある場合のみ、対応する必要があるため。		
214_崖線をはじめ湧水源となるみどりの保全																	
214	1		214-1	国分寺崖線のみどりの保全	国分寺崖線斜面及び周辺部のみどりを保全緑地制度等で守る。	A		緑地制度を活用し、40,620.16㎡の国分寺崖線の上のみどりを環境緑地として保全している。	引き続きみどりの軸として保全に努める。	A		A		A			
214	2		214-2	滄浪泉園でのイベント開催	特別緑地保全地区に指定されている滄浪泉園で、市民がみどりの大切さを理解するきっかけとなるようイベント開催等を通じて周知に努める。	A		5月にブルーベリー苗木配布と、親子の自然保護教室を実施した。	子ども及び子育て世代に身近なみどりの大切さを実感してもらう機会となった。	A		A		A			
214	3	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	0	A	0	A	0	A	0		
220_河川環境の保全																	
221_水質汚濁の発生防止																	
221	1		221-1	下水道法による水質規制	法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施する。	A		法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施。	法等に基づく排水の監視及び立入検査では、問題ない。	A		A		A			
221	2	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	A		申請件数3件・設置浸透ます6個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A	0	A	0	A	0		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考				
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）			
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）							
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)	
221	3	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	A		8件（9基）に補助金を交付した。	0	A	0	A	0	C	市民の設置意向により件数の増減が生じるため。			
222_水辺に親しめる機会の充実																		
222	1	重複	011-3	クリーン野川作戦	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的実施する。	B		新型コロナウイルス感染症予防のため中止	0	新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	B		清掃中心から、フィールドワーク中心のイベントへの変更を行う。	C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D	未実施	
223_流域単位での他自治体等との連携																		
223	1		223-1	野川流域連絡会への参加	野川流域連絡会（事務局：東京都建設局）へ参加する。	A		野川流域の環境に係る啓発や整備に関する協議を行った。		A		A		C				
223	2		223-2	野川流域環境保全協議会への参加	6市区（本市、国分寺市、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区）で構成される野川流域環境保全協議会へ参加する。	A		委員会（書面開催）、小委員会に出席し、幹事長市の引継ぎを行った。（令和元年、2年度幹事長市）		A		A		C				
223	3		223-3	多摩川流域協議会への参加	3都県30市区町村で構成される多摩川流域協議会へ参加する。	A		協議会は欠席したものの、引き続き多摩川流域における情報発信推進等に努める。		A		A		C				
230_水資源の有効利用																		
231_日常生活における雨水利用や節水の推進																		
231	1	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	A		8件（9基）に補助金を交付した。		A		A		C	市民の設置意向により件数の増減が生じるため。			
231	2		231-2	節水行動の啓発	環境行動指針の啓発などを通じ節水意識の向上と実践に努める。	A		環境行動指針の公開、配布及び雨水貯留施設の設置促進により節水意識の向上に努めた。		A		A		C	市民の意識調査の実施は難しいため。			
231	3		231-3	雨水利用に関する情報発信	雨水利用に関する関連情報をホームページに掲載する。	A		パンフレット「雨水活用のススメ」をホームページに掲載した。		A		A		C	市民の意識調査の実施は難しいため。		・公共施設の雨水タンク情報、国土交通省発行の「雨水活用のススメ」を掲載予定。【R3年3月、所管課回答】	
231	4		231-4	雨水利用に関する外部との情報交流	雨水利用の現状やトレンドを把握するため、外部との情報交流を行う。	A		各種会議体で議題とならなかった。		A		A		C	頻繁に議題となる案件ではないため。			
232_災害時における水資源の活用																		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
232	1	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	A		8件（9基）に補助金を交付した。	0	A	0	A	0	C	市民の設置意向により件数の増減が生じるため。	
232	2		232-2	非常災害用井戸の管理	非常災害用井戸を適正に設置・管理する。	A		令和4年2月に保守点検を実施		A		A		A		
232	3		232-3	震災対策用井戸の管理	震災対策用井戸を適正に管理する。	A		令和4年2月に水質検査（38件）を実施	・修理が必要な井戸については、市補助金（上限5万円）を支給しているが、費用が多額で所有者個人での修理が困難になると、協定を解除せざるを得ないことが想定される。	A		A		A		検査結果のうち、2件で採水不可となったため、経過観察中である。
300 都市の生物多様性を守り親しむ																
310 生物多様性の保全																
311 生物多様性に関する実態の把握																
311	1	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A	0	A	0	A	0	
311	2	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	D	令和4年度以降検討									・以下の3点を想定【R3年3月、所管課回答】：①グリーン野川作戦「植物観察会」情報のホームページ掲載（環境係）、②玉川上水の在来植物情報を生涯学習課から入手しホームページ掲載（すでに掲載されている場合はリンクを設定する）③「野川自然の会」のモニタリングページへのリンクを設定（要調整）
312 生き物の生息・生育環境の保全・創出																
312	1		312-1	公園等における樹木の選定	「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」に則り、公園内の樹木を新たに植樹する際には在来種から選定し、生物多様性の確保のため、実のなる樹木を植樹していく。	A		在来種を植樹することができなかった。	生物多様性を保持するために、新たな植樹候補地を国分寺崖線沿いの公園を中心に検討する。令和4年度に三楽公園整備工事により北側の緑地を開放するので、植樹対象箇所の候補地として検討する。	A		C		C	実績がないため。	
312	2	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。		A		A		A		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
312	3		312-3	緑化指導における在来種導入	指定開発事業に対する緑化指導の際に、都策定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」を参考にし、在来種の導入など生態系に配慮した緑化を働きかける。	A		前原三丁目大規模開発について、都策定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」や市策定の「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」にある具体的な在来種を中心とした植栽計画が立てられた。		A		A		A			
312	4	重複	312-4	学校ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理	児童・生徒を取り巻く環境が整備された。	A		A		A			
313 外来種対策の推進																	
313	1		313-1	アライグマ・ハクビシンの防除	アライグマ・ハクビシンの生態や、駆除の必要性を周知、また、捕獲し生息圏の拡大を防ぐ。	A		市報・ホームページでの周知を行った。捕獲頭数：10頭（アライグマ2頭・ハクビシン8頭）		A		A		A			
313	2		313-2	外来植物駆除	市民参加による外来植物駆除（クリーン野川作戦等）を検討・実施する。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	A		C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D		未実施	
313	3		313-3	生物多様性の普及啓発	外来種についての情報を市ホームページで発信する。	A		外来種情報をホームページに掲載した。		A		A		C			・アライグマ・ハクビシンの防除に関して、環境省「外来種、なにがダメ？」チラシ等を掲載することを想定。アレチウリやオオキンケイギク等外来植物の情報も発信する。【R3年3月、所管課回答】
320 自然とのふれあいの推進																	
321 自然について知る機会の創出																	
321	1	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	D	令和4年度以降検討	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
321	2		321-2	緑の環境教育	市内の公立小学校と連携し自然に接しながら緑の大切さを学ぶ環境教育を推進する。	A		小金井第四小学校6年生を対象の環境学習を行い、学校や公園等の樹木に樹名板を100枚設置した。	身近なみどりを大切にす気持ちの醸成につながった。	B	中学生対象の森林環境教育事業等、更に対象を広げ実施する。	A		A			
322 自然と親しめる機会の創出																	
322	1	重複	011-3	クリーン野川作戦	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的実施する。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	0	0	0	0	C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D		未実施	

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
322	2	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	A		■市民農園 農園数：5農園 区画数：191区画 面積：3,610.37㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和4年4月1日の開園に向け、ぬくいみなみ第2市民農園を整備した。	A	0	A	0	A	0		
322	3	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座を開催する。	A		市民講座、成人学校、若者による自主講座等計8講座を実施した。	講座参加者が固定化する傾向にある。いかに新規参加者を呼び込むか。	A	0	A	0	A	0		
322	4	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代掻きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	A		C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D	未実施		
322	5		322-5	はげの森調査隊	はげや野川の自然観察会を実施している、はげの森調査隊の活動に対し、市報での周知等の支援を行う。	A		はげの森調査隊は、2回実施の事業について後援を行い、市報にて周知した。	身近なみどりを大切にする気持ちの醸成につながった。	A		A		A			
322	6		322-6	市民団体等が行う自然と親しめるイベントへの協力	市民団体等が行う自然と親しめるイベント（自然観察会、生き物調査等）への支援・協力をを行う。	A		はげの森調査隊は、2回実施の事業について後援を行い、市報にて周知した。	身近なみどりを大切にする気持ちの醸成につながった。	A		A		A			・野川自然の会、小金井自然観察会から後援申請があれば実施。近年の申請実績はないため団体側の意向が不明。はげの森調査隊は緑と公園係との連携あり。【R3年3月、所管課回答】
322	7		322-7	自然観察会等の情報発信	市民団体主催の自然観察会や生き物調査等の開催情報を市ホームページやSNSで発信する。	A		該当する開催情報なし		A		A		C	該当があった場合のみ実施するものであるため。		・「野川自然の会」のモニタリングページへのリンクを設定（要調整）【R3年3月、所管課回答】
400 安全・安心して健康に暮らせる生活環境を守る																	
410 大気汚染や騒音などの公害発生源対策																	
411 事業活動等における公害の発生防止																	
411	1		411-1	公害関係法令に基づく規制・指導	大気汚染防止法、騒音規制法、東京都環境確保条例など公害関係法令等に基づく規制や指導を行う。	A			騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法に基づく規制地域の指定	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)	
411	2		411-2	小口事業資金融資あっせん制度における特別整備資金	小口事業資金融資あっせん制度により、特別整備資金のあっせんを行い、特定金融機関から融資を受けた際の利子及び保証料の一部を補助する。	A		0件	当該融資メニューの周知を図る。	A		B	新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急資金の申込みを行う事業者が増えたことが要因と考えられる。	B	引き続き、ホームページやパンフレット、市報などで、当該融資の周知を行い、申込み件数を増やせるよう努める。		
411	3		411-3	アスベスト排出等作業実施届出受付	アスベスト排出等作業実施届出受付（2000m2以下）と現場立会いをする。	A		大防法届出 0件 市条例届出 35件		B	大防法改正により事前調査報告義務化	A		A			
411	4		411-4	土壌・地下水汚染対策の啓発	土壌・地下水汚染対策について、事業所等に啓発する。ホームページやパンフレット等による情報提供を行う。	A			パンフレット等による周知	A		A		A		・想定コンテンツは今後具体的に検討【R3年3月、所管課】	
412_自動車由来の騒音や排気ガス等の低減																	
412	1	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証も行う。	A		地域公共交通会議5回開催	CoCoバス再編計画（案）及びガイドライン（案）が策定できた。	A	0	A	0	A	0		
412	2	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	A		民営自転車駐車場設置補助：1事業者、112台	多くの民間から賃借にて運営している中で、今後は恒久的に使用できる高架下などの自転車駐車場整備を進めていきたい。	A	0	B	恒久的に使用できる高架下などのスペースについては限られているが、引き続き、整備できるよう要請していきたい。	B	昨年度、民間との賃借借契約が終了し、市営の自転車駐車場を1か所廃止したため、代替場所の検討は行っているが、左記の状況がある。		
412	3		412-3	グリーン購入の推進	公用車の買い換えの際は、グリーン購入ガイドラインに基づき環境負荷の少ない車両を導入する。	D	車両購入なし。		故障し廃車になった際は新規購入予定。	A		C	故障し廃車になった際は新規購入予定			管財課回答に一部修正	
413_農業・化学物質・その他の環境汚染物質対策																	
413	1		413-1	除草剤や殺虫剤の適正使用の周知	広報や市ホームページを通じて、除草剤や殺虫剤の適正使用を周知する。	A			広報や市ホームページによる周知	A		A		A			
413	2		413-2	残留農薬検査	残留農薬検査に対し補助を行い、低農薬で安全な作物の生産を推奨する。	A		■残留農薬検査件数：0件	ウリ科の作物の土壌検査の補助を実施しており、令和3年度の要望はなかった。	A		A		A			
413	3		413-3	化学物質に関する情報提供	PRTR制度（法）や化学物質適正管理制度（都条例）に基づき、化学物質取扱い事業所に対し使用量報告を求め、また、化学物質の環境リスクに関する情報をホームページ等により提供する。	A		都条例に基づく届出13件 市条例に基づく届出6件		A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
413	4		413-4	シックハウス状況調査	公共施設（市立保育園）における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	A		冷暖房機 1台購入	購入の際、シックハウスの原因となる「ホルムアルデヒド」をはじめとした有害物質をまったく使用していないか、F☆☆☆☆等級の資材を使用した商品であることを確認した。	A		A		A			
413	5		413-5	シックハウス状況調査	市立小・中学校における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	A		教室等空気環境衛生検査測定を小学校2校、中学校1校にて実施した。	教室内の環境が基準値内であることが確認できた。	A		A		A			
413	6		413-6	空間放射線量の測定	認可保育園、幼稚園における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。	A		C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	D	未実施		
413	7		413-7	空間放射線量の測定	児童館・学童保育所における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	A		令和3年8月に児童館・学童保育所を対象に実施。	年1回でも放射線量を確認し、安全であることを知るだけでも安心して児童館・学童保育所を利用できる。	A		A		A			
413	8		413-8	空間放射線量の測定	市立小中学校における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	A		8月に小・中学校（全14校）の測定実施及び結果公表を行った。	安心安全な学校環境の整備のための状況把握。	A		A		A			
413	9		413-9	給食用食材の放射能測定	給食用食材に含まれる放射性物質の測定を行い、測定結果を市ホームページで公表する。	A		小中学校280件、保育園343件の検査結果を市ホームページより公表した。	市ホームページで測定結果を随時更新し、広く周知することができた。	B		A		A			
413	10		413-10	食品の放射能測定	希望する市民に対し、食品の放射能測定を、小金井市放射能測定器運営連絡協議会との協働で実施する。	A		測定件数62件（一般市民）検体数についてこれまで2検体を測定していたが令和3年8月から1検体の測定となった。	測定を実施するにあたり協議会の人員的体制が取りづらいつつ状況が生じている。	A		A		A			
413	11		413-11	放射線量測定器の貸出	空間放射線量を測るための簡易測定器を希望する市民へ貸し出す。	A		令和3年度 0件		A		A		A			
420_環境のモニタリングやコミュニケーション																	
421_大気汚染や騒音などの継続的な環境モニタリングと情報発信																	

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
421	1		421-1	ダイオキシン類に係る大気環境調査	大気中のダイオキシン類の調査を毎年実施し、環境報告書等により測定結果を公表する。	A		夏季・冬季にそれぞれ2か所で測定。いずれも環境基準値以下。		A		A		A			
421	2		421-2	住宅や沿道における二酸化窒素の測定	住宅地や交差点において、自動車排気ガスに由来する二酸化窒素濃度を測定（簡易測定法）し、環境報告書等により測定結果を公表する。	A		市内50か所で測定。いずれも環境基準値以下。		A		A		A			
421	3		421-3	大気中の浮遊粒子状物質の測定	大気中の浮遊粒子状物質の調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	A		市内2か所で測定。いずれも環境基準値以下。		A		A		A			
421	4		421-4	沿道における騒音・振動調査	市内の沿道において、騒音・振動調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	A		6本の都道で騒音及び振動を測定。いずれも要請限度以下。		A		A		A			
421	5	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	A		令和2年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施する。	A	0	A	0	A	0		
422_安全・安心のための話し合いやルールづくり																	
422	1		422-1	苦情処理・相談への対応能力開発	国・都等の研修制度を利用し、苦情処理・相談に対する対応方法等の向上を図る。	A			オンライン講座等を受講	A		A		A			
500_美しく住み心地のよいまちを守る																	
510_景観の保全・活用																	
511_景観保全・創出に係る取組の実施																	
511	1		511-1	地区まちづくりの推進	「小金井市まちづくり条例」に規定される、地区まちづくり計画及び協議会、テーマ型まちづくり、地区計画、建築協定等のしくみが活用されるよう、周知や各種支援を行う。	A		令和3年度支援団体数：0団体	継続実施したが支援対象となる申請がなかった。	A		A		B			支援対象となる申請がなかったため。
512_景観資源を活用する取組の充実																	
512	1		512-1	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」を開催する。委員会の意見を踏まえ、玉川上水及びその周辺環境を保全する。	A		2回開催	整備事業	A		A		A			
512	2		512-2	玉川上水・小金井桜整備活用事業（補足：東京都と連携）	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用計画」、「史跡玉川上水整備活用計画」（東京都）に基づき、サクラ並木の再生を進める。また、歴史的遺産として、まちの魅力向上に向け、積極的に市内外にPRする。	A		新小金井橋～梶野橋間にヤマザクラを10本補植した。専門家を招き講演会で玉川上水の植生調査の再生状況の報告をいただく。	サクラ並木と林床の再生状況の周知向上に繋がった。	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
512	3		512-3	まちなか観光案内	市民ボランティアガイドの協力を得て行うまちなか観光案内、市内の観光スポットをテーマ別に結んだ「小金井まち歩きマップ」の作成等、小金井観光まちおこし協会が行う取組を支援する。	A		募集ツアー 1回 リクエストツアー 4回	コロナ禍に相応しいまちなか案内の内容・実施方法について再構成が課題となっている。	A		B	新型コロナウイルス感染症防止対策の影響を大きく受け、「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」の発令期間のツアー・勉強会等は、原則として中止した。「宣言」と「重点措置」のいずれも解除された後は、ツアーを実施した。	B	コロナ禍での実施方法について引き続き検討していく。	・まち歩きマップ（毎年作成ではない）も含め、市の立場としては費用の補助及び広報協力となる。【R3年3月、所管課回答】	
512	4		512-4	重要な文化遺産の保護・活用	重要な文化遺産は、文化財に指定し保護・活用を図る。また、情報発信として文化財センターの他、まちかど歴史ミュージアム事業を展開する。	A		コミュニティ文化課と連携して旧中村研一邸茶室（花侵庵）を公開 本町四丁目の小金井村分水関連遺構の保護に向けた他機関との連携	建造物の活用及び文化財候補案件の保護が図られた	A		A	文化財の情報発信を進める	A			
520 美しいまちなみの維持																	
521 美しいまちなみの維持																	
521	1		521-1	定期的なパトロールの実施等	定期的なパトロールを実施し、不法投棄厳禁・ポイ捨て禁止等の啓発看板を設置する。	A		不法投棄やポイ捨ての多い箇所へのパトロールを実施し、市民に対しては各種啓発看板を配布した。 路上禁煙地区については、清掃活動の実施及び路面標示を設置を行った。	パトロールや啓発活動で防止対策を取っているが、不法投棄やポイ捨ては個人のマナーに帰属するところが大きく、完全に撲滅することは困難である。	A		A		A			
521	2		521-2	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレット	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレットを作成し配布する。	A		違反処理による除却枚数：はり紙389枚、はり札等70枚、広告旗0枚、立看板等3枚		A		A		A			
521	3	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	A		団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は377名。市民との協働による環境美化活動を推進したい。		A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
521	4	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的の実施する。	A		新たに6団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会も定期的に行うとともに、指定管理者制度を導入している先進的な2つの公園の視察を実施した。	先進的な2つの公園の視察を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができ、様々な意見交換の機会となり、モチベーションを高めることにつながった。	A	0	A	0	A	0		
521	5		521-5	放置自転車撤去事業	公道にある放置自転車等を継続的に撤去し、駐車秩序の確立を図り、良好な都市環境を保持する。	A		撤去台数：877台	撤去台数が減少してきており、良好な都市環境を保持できている。	A		A		A			
522_まちの魅力向上																	
522	1	重複	111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	A		市報R4年4月1日号及びホームページにて周知にむけ調整した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努める。	A	0	A	0	A	0		計画本文で言及しているため重複として位置づけている。
522	-		-	-	(上記を含め、基本目標2に示した緑化の推進に関する取組が該当する。)	-	-	-	-	-	-						
600_3R推進で循環型のまちをつくる																	
610_発生抑制を最優先とした3Rの推進																	
611_日常生活における3Rの徹底																	
611	1	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	A		数値実績なし	HPも10年以上になるがあらためてまず内容の周知以前にHPの広報を課ツイッターやチラシの置き場を広げて行っているところである。委員が何人か辞めたため、新たな部員の募集を新年度に行う予定である。HPのチラシの置き場についてもさらに広げて行っているところである。	A		A		A		・食育推進会議において、食べ物を残さないようにとか、各家庭にストックされている期限が切れていない食べ物の有効活用であるとか非常に積極的な意見が出されている。環境保全実施計画の中でも、基本目標6の取組として位置づけ、PR等を充実を進める（R3年2月、所管課からのコメント）・HP委員が制作に関わったごみ対策課のエコクッキングのYouTube動画を食育HPにも掲載した。	
611	2		611-2	生ごみ減量化処理機器購入費補助制度	生ごみ減量化処理機を購入する家庭、団体、事業所に対し、購入費の一部を補助する。市報、市ホームページ等により制度を広く周知する。	A		R3年度実績 406件（電動式384件、手動式6件、コンポスト16件）	昨年度実績より20件増加した。	B		補助上限率と補助率の適正化と申請手続きの簡略化を図る。	A		A		

体系No.			事業や取組の概要			毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
611	3		611-3	不用品交換コーナー	家庭で使わなくなった物を譲りたい方、譲ってほしい方に利用してもらうための「不用品交換コーナー」（第二庁舎4階）の活用を市報等で周知する。	A		94件	申請件数は一定数あるものの、掲示期限を過ぎて成立に至らないケースも散見される。より効果的な周知方法の検討が課題。	A		A		A		
611	4		611-4	小金井市消費者団体連絡協議会の支援	小金井市消費者団体連絡協議会が行う（リサイクルバザー、おもちゃの病院、食器リサイクル）の取組を支援する。	A		おもちゃの病院、食器リユースについては回収のみを実施。おもちゃの病院利用者37人。食器リユース回収量190.6kg。	新型コロナ感染防止のため事業を休止していたが、令和3年7月より再開した。新型コロナの感染対策として食器回収については、事前申し込み。今後も引き続き市報・HP等により広く周知していく。	A		A		A		
611	5		611-5	生ごみ堆肥化事業	大型の電動生ごみ処理機を市内小・中学校、保育園、集合住宅等に設置し、投入された生ごみを電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、民間堆肥化製造施設で完熟堆肥化する。	A		堆肥購入量48,900kg	市内小・中学校等から排出される可燃ごみの減量が図られている。	A		A		A		
611	6		611-6	剪定枝のチップ化（公園緑地）	公園緑地で剪定された枝葉をチップ化し、公園緑地の敷き均し材として使用する。	A		各公園で職員やボランティアにより剪定や回収をお行い、梶野公園のヤードに積み重ねられていた枝葉について、チップ粉碎処理等を行い、はげの森緑地2へ搬出し、敷き均しをした。	年々、剪定や回収量が増えている。	A		A		A		
611	7		611-7	緑のリサイクル（街路樹）	街路樹の管理委託業者に、発生した枝葉等のリサイクル（チップ化等）に努めるように指示する。	A	再利用ができる施設に搬入するように指示している。	搬入量152.1t		A		A		A		
611	8		611-8	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立小・中学校において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し畑や花壇に利用するとともに、燃やすごみを減量する。	A		チップマシーンにより各学校でチップ化している。また、チップ化できない太枝については、請負業者がリサイクルしている。	剪定したもののチップ化を行い、ごみの減量することができた。	A		A		A		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
611	9		611-9	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立保育園において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し燃やすごみを減量する。	A		廃棄物減量	落葉等を腐葉土として、畑作りや花壇に使用し、ごみの減量につながった。	A		A		A			
612_ 分別・減量を徹底する啓発活動の強化																	
612	1		612-1	清掃指導員（市職員）による分別指導	清掃指導員（市職員）による分別指導を強化する。	A		市民からの要望等があった際に随時清掃指導員を派遣し、分別相談及び指導を行った。	現地で指導員が現物確認することにより、具体的に適切な指導ができている。	A		A		A			
612	2	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	A		市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を年4回掲載し、正しい分別方法の周知やごみ減量啓発を図る。	転出入者が多いので、くりかえし周知や啓発を行うことが必要となる。	A		A		A			
612	3		612-3	ごみ減量キャンペーン	ごみ減量キャンペーンとして、各種イベントや街頭での呼びかけ、啓発グッズ作成・配布等を行う。	A		新型コロナウイルス感染症予防のため駅前キャンペーンなど大規模なものは実施できなかったが、水銀使用製品回収キャンペーンで啓発グッズの配布等を行った。	大規模キャンペーンを実施するためには、どのような感染対策が可能であるかを検討する必要がある。	A		A		A			
612	4		612-4	ごみ・リサイクルカレンダーの発行	ごみ・リサイクルカレンダーを全戸配布する。	A		全11地区、合計85,000部作製し、2～3月に全戸配布した。	原油価格の高騰により、例年より2,000部少ない発行部数となった。	A		A		A			
612	5	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	A		カレンダー等の広報にごみ分別アプリの周知をおこない、発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	昨年度比でごみ分別アプリダウンロード数が増加した。 R2年度DL数：3,804件 R3年度DL数：3,938件	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
612	6	重複	612-6	くるカメ出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	A		出張講座（6回）等で啓発活動を実施。	オンラインでの学習教材等提供で対応できるようにしたが、より充実していく必要がある。	A		B	当初計画していた講座等の実施ができなかった。	B	実施回数を伸ばしたかったが6回に留まった。	
612	7		612-7	ごみ処理施設市民見学会	燃やすごみがどのように処理されているかを理解し、ごみ減量・分別の徹底を推進するため市民見学会を実施する。	B		新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施することができなかった。	コロナ禍でも安心して施設見学ができるよう人数や行程・参加者へのルールの見直しを行う必要がある。	A		C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施することができなかった。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施することができなかった。	
612	8	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	A		市民への周知を図るため、啓発チラシに掲載した。	親しみやすくするために認知度の高いごみ減量啓発キャラクターを使用することで、幅広い世代に周知が図られている。	A		A		A		
612	9		612-9	リユース食器の貸し出し	祭りやイベントで発生するごみ（使い捨て容器や割りばし）を減らすため、専門業者による洗浄により繰り返し使用できるリユース食器の貸し出しを行う。	A		1件	自粛していたイベント等が再開したときに、以前の利用状況に戻るかが懸念される。	A		A		A		
612	10		612-10	庁内グリーン購入の推進	「小金井市グリーン購入方針」及び「同ガイドライン」に基づき庁内のグリーン購入を行い、その実績をホームページで公表する。	A		実績をホームページに公表した。	市のグリーン購入の取組を周知できた。	A		A		A		
612	11		612-11	マイバッグキャンペーン	消費生活展や消費者ルームまつり等において、啓発用グッズを配布し、マイバッグ持参を奨励する。	B		令和3年度は消費生活展及び消費者ルームまつりは新型コロナウイルス感染防止のため中止。		A		A		A		
613_事業活動における3Rの推進																
613	1		613-1	排出状況調査等	事業所の排出状況調査及び分別等の指導を行う。	B		感染症拡大の影響で事業所実地調査を実施することができなかった。	立入り人数を制限する等、感染症対策を徹底した上での実施を検討する。	A		A		A		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
613	2	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	A		市民への周知を図るため、啓発チラシに掲載した。	親しみやすくするために認知度の高いごみ減量啓発キャラクターを使用することで、幅広い世代に周知が図られている。	A	0	A		A	0		
620_安全・安心・安定的な適正処理の推進																	
621_地域と連携した収集・運搬の推進																	
621	1	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	A		カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知をおこない、発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	昨年度比でごみ分別アプリダウンロード数が増加した。 R2年度DL数：3,804件 R3年度DL数：3,938件	A	0	A		A	0		
621	2		621-2	環境負荷の少ないごみ収集車両への更新	ごみ収集車両の買い換えの際には、環境負荷の少ない車両を購入する。	A		直営では導入実績無したが、委託は買い替えの際に導入している。	委託は使用車両の7割が低公害車を使用している。	A		A		A			
621	3		621-3	ふれあい収集事業	ごみ出しが困難な世帯（高齢者、障がいのある方等）を対象に、戸別訪問による家庭ごみの収集を行うとともに、安否確認も行う。	A		例年通り	コロナにより対面の聞き取り調査が出来ず、きめ細やかな対応が難しい。	A		A		A			
622_適切な処理・処分の推進																	
622	1		622-1	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設（日野市内）において燃やすごみを焼却処理し、焼却灰はセメント原料としてリサイクル処理する。	A		令和3年度実績焼却残さ搬入量1,123t	-	A		A		A			
622	2		622-2	中間処理施設の運営	中間処理施設において、不燃系ごみの資源化処理を進める。	A		令和3年度中間処理場施設資源化量2,958,990kg	廃棄物処理による環境負荷を削減 令和4年8月小金井市野川クリーンセンター(不燃・粗大ごみ積替え・保管施設)が稼働開始	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
622	3		622-3	清掃関連施設整備事業	清掃関連施設整備基本計画に基づき、清掃関連施設（不燃・粗大系、プラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等の資源物系）の整備を進める。	A		不燃・粗大ごみ積替え・保管施設については、本体工事を進めた。資源物処理施設については、事業者を選定し設計等を進めた。また、施設整備に必要な用地の取得や都市計画変更等に向けた準備を進めた	令和4年8月小金井市野川クリーンセンター（不燃・粗大ごみ積替え・保管施設）が稼働開始 資源物処理施設については、現施設解体工事に着手する。	A		A		A			
623_廃棄物処理を支える体制の確立																	
623	-		-	-	(基本目標6の各取組のほか、関係機関や事業者と情報共有、事業コスト管理、環境資金の有効活用等を通じて支える体制の確立・継続を図る)	-	-	-	-	-	-						
700_エネルギーを賢く使い、低炭素なまちをつくる																	
710_家庭・事業所における低炭素化の推進																	
711_建物の低炭素化の促進																	
711	1	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	A		計119件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A	同様の事業を展開する。	A		A			
711	2	重複	711-2	小金井市増改築資金あっせん制度	小金井市増改築資金あっせん制度により、居住する家屋に太陽光発電設備等の設置を行う場合に、特定金融機関を通じて、その資金の一部を低利で融資する。	A	市報、ホームページ等の掲載するも申請がなかったため	申請件数0件	(令和4年3月31日で制度廃止)	C	近年申請がないことから検討を行った結果、廃止することとなった。	A		B	申請がなかったため	・R2～3年度の住宅マスタープラン改定において見直しを検討中。【R3年3月、所管課回答】 ・制度導入当時の背景として、狭小住宅における床面積不足の補完というニーズがあったが、近年の住宅における延床面積は増加している。制度利用者は減少し、平成25年度からは申請件数が0件であることなどからも一定の役割を終えたものとして、制度廃止に至った。なお、小金井市住宅マスタープラン策定委員会に対し廃止することを提示し、了承を得ている。 ・令和4年3月31日で制度廃止。	
711	3		711-3	省エネ改修工事に伴う固定資産税の減額	一定の要件を満たす省エネ改修工事（熱損失防止改修工事）を行った住宅について、申告により翌年度分の固定資産税（家屋分）を減額する。	A		2件	住宅における熱損失防止改修工事の促進	A		A		C	地方税法及び市税条例の規定による		

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)	
711	4		711-4	公共施設の低炭素化	公共施設の建設・改修工事において、省エネルギー性能の高い機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	A	予定通りに工事を実施したため	小金井市本町児童館トイレ改修工事（LED照明10台）、小金井市立南中学校トイレ改修工事（LED照明16台）、小金井市栗山公園健康運動センター大規模改修工事（LED（照明等）621台、高効率空調用機器設置EHP33台、全熱交換器TEX10台、エアハンドリングユニット1台）、小金井市立小金井第一小学校西倉庫屋上防水等改修工事（LED照明20台）		A		A		A		建築営繕課回答	
712_機器・設備の低炭素化の促進																	
712	1	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	A		計119件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A		0		A		0	
712	2	重複	711-2	小金井市増改築資金あっせん制度	小金井市増改築資金あっせん制度により、居住する家屋に太陽光発電設備等の設置を行う場合に、特定金融機関を通じて、その資金の一部を低利で融資する。	A	市報、ホームページ等の掲載するも申請がなかったため	申請件数0件	（令和4年3月31日で制度廃止）	C		0		A		B	申請がなかったため
712	3		712-3	フロン類の回収・処理についての情報提供	市民・事業者に対し、フロン類が適正に回収・処理されるようチラシ、パンフレット等による情報提供を行う。	A		カウンターへのチラシの設置やHPでの情報提供をした。	どのくらいの事業者が見てくれているか不明	A				A			
712	4		712-4	公共施設における環境配慮施設等の設置	公共施設の整備に際して、環境に配慮した施設整備を促進するとともに、建替えや大規模改修の際には、太陽光発電・太陽熱温水器等の設置を検討する。	B	検討する機会がなかった。			A				C			回答課なし
713_低炭素化につながる行動・活動の普及促進																	
713	1	重複	031-2	「小金井環境行動指針」の活用	「小金井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	A		市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手にとってもらえる環境を整備できた。	A		0		A		0	

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）	
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N													(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
713	2		713-2	省エネチャレンジ事業	エネルギー消費の削減量に応じて商品券や商品との交換が可能なポイント制度を検討・実施する。	A		家庭部門45件、業所部門5件の参加申込があり、38件の報告書が提出された。	報告書の提出が一部にとどまった。	A		A		B	報告書の提出が一部にとどまった。	
713	3		713-3	環境マネジメントシステム導入事業所に対する優遇措置	環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21等）を導入している事業所の優遇措置を検討・拡大する。	D	令和4年度以降検討									・現時点で実施予定はないが、以下の他自治体事例①②を踏まえ今後検討。【R3年3月、所管課回答】 ①事業所のホームページでの公表（エコアクション21：1事業所、ISO14001の認証を本社が受けており、グループ店舗が市内にある：2事業所）、②入札制度での評価加点
720_移動における低炭素化の推進																
721_交通手段の転換の促進																
721	1	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証も行う。	A		地域公共交通会議5回開催	CoCoバス再編計画（案）及びガイドライン（案）が策定できた。	A		A		A		
721	2	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	A		民営自転車駐車場設置補助：1事業者、112台	多くの民間から賃借にて運営している中で、今後は恒久的に使用できる高架下などの自転車駐車場整備を進めていきたい。	A		B	恒久的に使用できる高架下などのスペースについては限られているが、引き続き、整備できるよう要請していきたい。	B	昨年度、民間との賃貸借契約が終了し、市営の自転車駐車場を1か所廃止したため、代替場所の検討は行っているが、左記の状況がある。	
722_自動車の低炭素化の促進																
722	1		722-1	エコドライブの普及啓発	チラシ、パンフレット等によるエコドライブに関する普及啓発を行う。	A		環境政策課窓口にて配布した。		A		A		A		
722	2		722-2	次世代自動車の情報提供	次世代自動車の性能や効果、各種補助金制度等の情報提供をチラシ、パンフレット等により行う。	A		各種補助金について情報提供に努めた。		A	令和4年度から次世代自動車普及促進補助金の交付を開始。環境に配慮した自動車購入促進に努める。	A		A		
722	3		722-3	次世代自動車を利用しやすい環境づくり	公共施設の建設・改修工事の際は、急速充電設備の設置等、次世代自動車の利用しやすい環境づくりを検討する。	B		情報発信はしているが、次世代自動車の利用しやすい環境づくりの検討までには至っていない。		B	引き続き情報発信に努める。	B	環境づくりの検討をする必要がある。	B	環境づくりの検討をする必要がある。	
730_気候変動適応策の推進																
731_気候変動適応に関する普及啓発																

体系No.				事業や取組の概要		毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	R3年度実施状況			効果や課題	R4年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった C…評価になじまない D…その他（備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A、C以外の場合のみ記入）		
						A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N														(次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載)
731	1		731-1	気候変動に関する情報発信	市のホームページや、広報紙、パンフレット等様々な媒体を通じて、気候変動による影響や適応の必要性、技術動向や国・都の政策、市民や事業者が実施可能な対策等に関する情報を発信する。	A		市HPなどで情報発信に努めている。		A	引き続き情報発信に努める。	A		A			
732_気候変動による影響の把握																	
732	1		732-1	気候変動による影響の把握	市域で起こっている気候変動による影響について把握に努める。水環境や自然生態系については、水質や水量、動植物の調査により変化の程度や内容を把握する。	A		地下水保全会議で情報提供を呼び掛けた。また、水質等の報告書について報告した。	今後も、地下水保全会議等で情報収集に努める。	A		A		A			・府中アメダス気温・雨量、水質監視測定、クリーン野川作戦（植物観察会）を想定。【R3年3月、所管課回答】
733_暑熱対策の推進																	
733	1	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	A		小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A	0	A	0	A	0		
733	2		733-2	街なかでのクールスポット創出	まちなかや公共施設に、緑のカーテンやミストの設置などによるクールスポットの創出を検討する。	B	検討する機会がなかった。			A		C		C			回答課なし
734_災害対策の推進																	
734	1	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願い、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	A		申請件数3件・設置浸透ます6個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A	0	A	0	A	0		
734	2		734-2	小金井市防災マップ等の作成公表	浸水予想区域図や土砂災害警戒区域の情報を掲載した「小金井市防災マップ」の作成・配布を行う。また、市ホームページで小金井市防災マップ、東京防災などの情報提供を行う。	A		窓口やイベント等で配布するとともに、マップ内容を一部更新（法改正に伴う避難情報の変更など）し、10,000部増刷した。	防災マップは媒体の性質上、最新の情報を反映させることが困難であるので、市ホームページ・ツイッター等で補完していく必要がある。	A		A		A			
734	3	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	A		計119件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A	同様の事業を展開する。	A	0	A	0		